

こ ん に ち は 、 小 川 あ き ら で す 。

きらきら通信

秋号

2016.11月

議会報告

決算とは…

全国女性都道府県議の会・発足

常任委員会の県内調査

スポーツ振興に関する
特別委員会の県外調査

養蚕農家に行ってみよう！

地域のミニ情報

豆知識～ぐんま元気の5か条を制定！～

群馬県議会議員 リベラル群馬



ご挨拶 2016年秋

朝晩めっきり涼しくなりました。秋もすっかり深くなり冬の足音が聞こえてくるようですね。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

国会では、TPPの審議が山場を迎え、解散風も吹いてきたと言われています。また東京都においては、豊洲市場の問題、そしてオリンピック施設の建設問題などが新聞やテレビ報道で毎日取りざたされ、政治や税金の使い道に対して、国民の関心が高まっているのを感じます。

群馬県においても、ハッ場ダムの建設や競馬場跡地のコン

ベンション施設建設など、多額の県税を投入する事業が前のめりで進んでいます。議会としてしっかりチェックしていくこと、そして県民の皆さんに対する説明責任を果たす役割の重要性を今一度認識し、議員一人一人がしっかり行動することが求められていますね。

東京都知事として、民進党の代表にも女性が選出され、世界中で女性の活躍が少しずつ進んでいます。群馬県議会では、まだまだ少ない女性議員ですが、柔軟に、そして芯はブレない! そんな「しなやか」な議員活動を目指していきたいと思っています!

議会報告

平成28年第3回定例会が、9月20日～12月15日までの87日間の会期で開催されています。前半では、総額142億円の一般会計補正予算案やハッ場ダム建設の事業費を増額する基本計画の変更に同意する事件議案など計34議案が可決されました。142億円のうちの98億円は国からの社会資本整備交付金(いわゆる公共工事のひも付き予算)です。また、リベラル群馬からは、補正予算案に対してコンベンション施設の実施設計にかかる費用1億8249万円を認めない趣旨の修正案を提出しましたが、多数決によって否決されてしまいました。同様に、ハッ場ダムの基本設計に対する同意についても「さらなる県費負担が生じる計画変更」に群馬県は同意しない」という文言の追加を求めたものの否決となっています。

- 公共工事費用 98億円
→ 公共工事偏重型の政治でいいの?
- コンベンション施設実施設計など 1億8249万円
- 自殺対策「群馬いのちの電話」の周知活動 282万円
- 金井東裏遺跡の甲を着た古墳人の保存処理
..... 4984万円
- 浅間山火山ハザードマップ作成 1千万円
- 太田医療技術専門学校の看護師養成所の施設整備
..... 1億4772万円
- ぐんまアリーナリード競技用クライミングウォール整備
..... 8900万円



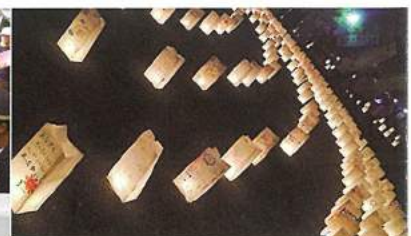
アカギワールドキャンプ



東地区市民運動会



県防災訓練



リレーフォーライフ

スポーツに関する特別委員会

こんな質問をしました

- オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致について
- トップアスリートの活用について
- 市町村のスポーツ大会の連携・情報発信について
(赤城・榛名・妙義の3大ヒルクライムが開催できるように調整してもらいたい)

決算とは…

予算がどのように使われてどのような成果をあげたかを認定する、議会の大事な権限の一つ。税金が適切に使われたか、効果はどうだったか。限られた予算の中で最大限の効果をあげられるように、しっかり検証して、来年度予算に反映させていきます。決算審査では以下の事項を質問しました。

- 東国文化周知について(東国文化サミットの効果や副読本の活用について)
- DV対策の推進について(民間団体の活動と補助の状況、自立支援の取組について)
- 女性の活躍推進事業について
- 生活困窮者自立支援事業の取組が遅れた理由について
- 食育の推進について
- ドクターヘリの運航状況について

厚生文化常任委員会

こんな質問をしました

- 災害時の外国人に対する支援について
- 骨髄バンク登録と献血の促進について
- ぐんまマラソンの準備と経済効果について
- DET(障がい平等研修)に対する県の考え方について
- 医療保護入院と移送制度について
- 国体の誘致について(今後のスケジュール、課題等)
- 指定管理について(施設の修繕の考え方やアンケートの実施方法について)

東光虹の家とぐんまアリーナのテニスコートを調査!!

決算審査のため、平成27年度に県の予算を使用した児童養護施設「東光虹の家」とぐんまアリーナのテニスコートの現地調査を実施しました。



ぐんま元気の5か条を制定!

県議会の豆知識



全ての県民が、心身ともに健康で質の高い生活を送ることができる「元気県ぐんま」を実現するために、「ぐんま元気(GENKI)の5か条」を制定しました。

第1条 **G** げんき(元気)に動いて ぐっすり睡眠(運動・休養)

第2条 **E** えんぶん(塩分)ひかえて 食事はバランスよく(食生活)

第3条 **N** なかま(仲間)をつくって 健康づくり(社会参加・健(検)診)

第4条 **K** きんえん(禁煙)めざして お酒は適度に(喫煙・飲酒)

第5条 **I** いいは(歯)を保って いつも笑顔(歯と口・こころの健康)

— 元気のみなもと 元気の5か条 —



林活議連(川場村)



緑風街の稲刈り



鈴木元市議会議員と



前橋まつり(だんぱー踊り)

修正案の提案

知事提案の補正予算に対して、コンベンション関連予算を認めないとする修正案を提案しました。
(提案理由は以下のとおりです。)

リベラル群馬の小川あきらです。

第139号議案の修正案について提案いたします。

修正案は、補正予算の歳出のうち「企画費」「コンベンション推進費」の中の実施設計の委託料1億7500万円及び開発区域設定のための測量等の費用749万3000円を「総務費」の「総務管理費」に組み替え、さらには債務負担行為補正のうち、コンベンション施設実施設計業務委託契約の平成29年度分についても、同時に減額修正をするものです。

私どもリベラル群馬は、平成28年第1回定例会においてもコンベンション施設の基本設計に関して修正案を提出しておりますが、今議会においても修正案を提出するのは、依然としてコンベンション施設建設についての疑問が解けないからであります。

そもそも、このコンベンション施設の建設に関して、県民の理解というものがどれだけ熟しているのでしょうか。平成21年度のアンケート調査ではコンベンションという選択肢は少数意見であったこと、これまでの経過の中で県内の自治体の首長からも慎重意見が出ていること、そしてパブリックコメントにおいても相当数の反対、慎重意見が寄せられたこと、これらを踏まえると、県民の理解が十分に深まっているとは到底言えません。

280億円の税金が投入され、さらには維持管理費にも年間数億円がかかると言われるコンベンション施設の建設にあたっては、県民の声を丁寧に聞いて、県民の理解、納得を得られる努力をすべきであるにも関わらず、残念ながら県民アンケートを含め、より広く、より多くの県民の声を率直に聞くプロセスは、これまで行われてきませんでした。

なぜコスト高のこの時期に、建設を急がなければならないのか。採算は本当にとれるのか。県内に今ある施設でのコンベンション誘致の経験を積む方が先ではないのか。

こういった部分に対する県民の理解が図られているのかということについては、未だ不十分と言わざるをえません。



さらには、この問題は我われ県議会のチェック機能が問われる問題であると考えます。今まさに、東京都では、豊洲市場、あるいはオリンピック施設の整備において、当初の予定よりも建設費用が何倍にも膨れ上がり、大きな問題になっています。公共施設の建設は往々にして費用が増加しがちであるということをしっかりと受けとめた上で、公共施設の建設と税金の使い道について多くの国民が関心を寄せている今こそ、議会としても、県民に対してしっかりと責任が果たせるように、慎重に議論を重ねる必要があると考えます。

コンベンション施設基本計画には、これから50年の群馬県を羽ばたかせる都市装置とうたわれています。長期の使用が予定されている公共施設の運用コスト(維持管理費)は、建設コストの数倍もかかると言われています。そしてすべての結果は、地方自治体の住民が、すなわち県民が負うことになります。

このような極めて重要な意思決定は、単なる多数決によるのではなく、様々なデータを検証して、違う立場からの意見も取り入れながら、良識的に判断することが必要です。

一度決めたことだから、既定路線だから、何も考えなくてよいというのではなくて、何度でも何度でも立ち止まって、本当に県民のためになるのかどうかを、議会として問い続けることが求められているのではないのでしょうか。

提案の最後に、これも繰り返しになりますが、今後の検討の中で、当初の計画の280億円よりも建設費が増加をするというような状況になった場合には、計画そのものから容認できないということを改めて申し添え、提案に変えさせていただきます。

全国女性都道府県議の会がいよいよ発足。太田のあべ県議とともに研修に参加しました。

研修では、災害時の自治体広報のあり方について、ピーンスター株式会社の鶴野さんのお話を伺いました。

- 災害時には色々なチャンネルで情報発信すること
- とりわけネットユーザーの増加に対応するため行政でもネット対策を実施する必要がある

お話を聞きながら、2年前の豪雪被害の際の『まえばし大雪情報』の広がりを思い出しました。市民の力で情報共有から支援まで行える仕組みはとても有効。そこに市長や議員もコミットしていてSNSの活用としては理想的な形だと思えます。

問題は、ネットを頻繁に利用していない方々への情報伝達。

アナログなようですがエリアメールや防災無線の活用を重視したいですね！



▶▶▶ P.S.

研修会から間もなく、9月8日の台風13号の接近では、前橋市では初めてエリアメールが発信されました。皆さんの携帯にも『避難準備情報』が流れましたよ

ね。ただ、初めてのことで、避難準備って何をすればいいのかわからなかった人も多かったはず…。

避難情報の種類とどういった行動をとるべきか、もう一度確認しておきましょう。

●避難準備情報⇒一般住民は避難の準備、要配慮者は避難行動開始

●避難勧告⇒避難のための立ち退きを促すもの

●避難指示⇒勧告よりも拘束力が強く、避難のための立ち退きを求めるもの

また、災害時には、防災行政無線を使用し、学校の屋上などにあるスピーカーから音声で災害情報を放送しますが、窓を閉めていたり、雨が降っていると聞こえないこともあります。前橋市では、災害時に自動的にラジオが起動し、緊急放送を行う防災ラジオも採用しています。(まえばしCITYエフエムで販売中)

常任委員会の県内調査

2016.8.25

厚生文化常任委員会の月一委員会では、第7次群馬県保健医療計画の一部改訂(地域医療構想)と手話言語施策実施計画案について審議を行い、その後リハビリテーションセンターの現地調査を行いました。

地域医療構想では、在宅医療や在宅介護の重要性について業界全体で認識を共有してもらいたいという提案と、手話言語施策については、手話を必要としている方々への配慮はもちろん、手話が言語として当たり前になるためには、生活のあらゆる場面で目にするのが重要なので、小学校・中学校でも手話に触れる機会をつくってもらいたいと要望させていただきました。

その後、現在建て替えを行っている伊勢崎のリハビリテーションセンターへ。

リハビリテーションセンターは、築40年が経過し老朽化した設備の更新やプライバシーの確保が課題になっていた施設です。

既に改善されましたが、ほんの少し前までは、浴室と更衣室が離れていて、利用者さんがタオル一枚で廊下を移動するというような状況でした。

また4人部屋では、誰かが食事を食べている横でおむつ交換が必要になったりと、トラブルの原因にも…。

今回は新棟を建設し、利用者さんの障がい程度に応じて個室や2人部屋を使い分けることで、きめ細やかな支援が行えるようになります。

また、ALS等難病対応居室の設備や医師の常駐など、県立施設ならではの役割も果たしています。

建設にあたっては、現場の職員さんの意見を取り入れていただき、カウンターの高さや手すりの位置、それぞれの部屋に応じたテーマカラーなど、細かいところまでこだわっている様子が伺えました。完成まで、あと少しです。



9月6日～8日にかけて、スポーツ特別委員会の県外調査を実施しました。初日は国立スポーツ科学センター、ナショナルトレーニングセンターとスポーツ庁にお邪魔しました。リオで獲得した41個のメダルのうち40個はナショナルトレーニングセンターで練習を積んだ選手たちによるもの。国家の威信をかけた競技力向上施設は、ナショナルチームの皆さんが、医科学の側面、栄養学の側面、メンタルの側面など、あらゆる面からバックアップを受けられる素晴らしい施設です。一昨年からはパラの選手も利用できるようにバリアフリーの取り組みも行っているとのこと。東京オリパラが楽しみです！



続くスポーツ庁では、競技力向上以外にも、子供の体力向上やスポーツを通じた健康増進、国際的地位の向上、スポーツによる地域経済の活性化などについて意見交換を行いました。未来のアスリートの発掘や、地域資源を活用したスポーツコミッションの在り方など、群馬に持ち帰る課題もたくさんありました。



群馬県の大雨被害を心配しつつ、県外調査2日目は和歌山県庁と紀三井寺公園陸上競技場にお邪魔しました。昨年度国体を開催した和歌山県。約10年前から準備をはじめ、施設整備や周辺の社会資本整備、選手の発掘や競技力強化活動、指導者の育成等を始めたとのこと。大会で使用した64施設のうち、新設は10施設、改修は30施設で、新設整備費用は県有施設で223億円、市町村の施設で137億円となっています。



国体の開会式会場となった紀三井寺公園陸上競技場は、屋根の設置やバリアフリー化、ロイヤルボックスの改修の他に、電光掲示板や夜間照明設備の新設を行ったそうです。(掲示板や照明は群馬の施設では設置済みです。)開催までのスケジュールや国体終了後の施設の利活用の状況、ボランティアの確保、宿泊施設の問題など、和歌山

県での様々な取り組みを参考にさせていただき、平成40年の群馬国体招致に繋げていきたいですね！



最終日は、秋葉山公園県民水泳場を調査。こちらは昭和46年に開催された第26回黒潮国体の水泳競技会場として使用された県営の水泳場ですが、老朽化が激しくなり、平成27年の「紀の国わかやま国体」の開催にあたり、建て替え工事が行われた施設です。水泳場という性質上、湿気が多い施設ですが、屋根には紀州材と鉄のハイブリッド材が用いられており、特徴的な建築となっています。群馬県でも敷島水泳場の設備の故障や老朽化が問題になっているので、2巡目国体に向けて、大幅修繕するのか建て替えるのかが重要なポイントになりそうです。



今年度末には、県から国に対し、国体招致要望書を提出し、来年夏頃には内々定がもらえる予定です。12年後はまだまだ先のことに感じますが、しっかりと準備をしていきます！

前橋市内の養蚕農家さんにお邪魔させていただきました。

群馬県民にとっては身近な養蚕ですが、最盛期には80000戸以上あった農家さんも今では137戸に減ってしまいました。経済的な理由(繭価格の下落)や高齢化で続けることが難しい現状があるそうです。

とはいえ、全国の養蚕農家の36%、繭生産量の32%を占めているのは群馬県。日本の養蚕にとっては、まさに群馬が最後の砦です。

養蚕農家数及び繭生産量(平成25年)

	農家数(戸)	繭生産量(t)
茨城	21	7
栃木	26	20
群馬	181	58
埼玉	41	13
千葉	7	2
東京	5	0.4
山梨	15	4
長野	22	5
管内	318	109.4
全国シェア	65.4%	65.1%
全国	486	168

(県内)	平成17年	平成25年	平成27年
養蚕農家数	650	181	137
繭生産量	278	58	47

県では、新分野への広がりとして遺伝子組み換え蚕の飼育に取り組んでいるほか、今年度からは「群馬養蚕学校」を開講し、新たな担い手育成・確保を進めています。この日も新たに養蚕を始めたいという研修生が来ていましたが、実際に養蚕をはじめるとなると、道具をそろえるところから課題があるとのこと。群馬の歴史と伝統を産業と



しても文化としても残していける仕組みづくりが必要です。

富岡製糸場と絹産業遺産群も単なる観光資源ではなく、先人に学び未来に希望を持つ遺産として活用していきたいですね。

絹遺産を探しに行こう

【前橋ステーション跡】



石倉町1丁目の交差点を北に進むと、突然現れる大きな動輪。何だろうと気になった方も多いのではないのでしょうか。ここは、前橋ステーション跡。明治17年(1884年)に、日本で3番目の鉄道として上野～前橋間が開通し、この場所に駅舎が建てられたとのこと。当時は利根川に鉄橋がかけられなかったため、石倉町が前橋の玄関口として発展し、前橋の絹を横浜港まで大量に運び、そこから世界に向けて輸出する重要な役割を果たしていました。

地域のミニ情報

鳥取町のくらもと公園角の交差点に信号が設置されました。



長い間地元から要望があがっていた案件ですが、昨年ようやく設置となりました。県の予算では、信号機は毎年60基しか設置できないので、緊急性などからどうしても順番待ちになってしまうところが出てきます。この信号が鳥取町の安全な暮らしにつながることを祈念しています！

活動報告

主な地元活動・参加行事

(掲載の都合上、割愛させていただく場合がございます。)

- | | |
|---|------------------------------------|
| 8月11日 御巣鷹山慰霊登山 | 9月24日 小学校運動会、高崎JC65周年記念式典 |
| 8月13日 スマイルフェスティバル
ラインまえばし | 9月25日 群馬ブロック交流会 |
| 8月15日 群馬県戦没者追悼式 | 9月26日 一般質問 |
| 8月19日 アカギワールドパーティー | 9月27日 一般質問 |
| 8月20日 わくわくこども祭り | 9月28日 前橋まつり実行委員会 |
| 8月21日 ホリデーインまえばし | 9月29日 一般質問 |
| 8月22日 前橋JC定期総会 | 9月30日 議員団会議、オクトーバーフェスト |
| 8月23日 全国女性都道府県議会議員の会・研修会 | 10月2日 東地区市民運動会 |
| 8月25日 常任委員会月一委員会 | 10月3日 常任委員会 |
| 8月27日 関東10県会夏季研修(弁護士会) | 10月4日 常任委員会 |
| 8月28日 日本青年会議所関東地区太田大会 | 10月6日 群馬作家展(ノイエス朝日)、後援役員会 |
| 8月31日 関越IC同盟会定期総会 群馬ブロック青年経済人育成塾 | 10月7日 特別委員会 |
| 9月2日 前橋地区平和運動センター総会 | 10月8日~9日 前橋まつり |
| 9月3日 群馬県総合防災訓練、群馬県人権啓発講座 | 10月10日 少林寺拳法前橋大会、NSK百周年記念イベント |
| 9月6~8日 スポーツ特別委員会県外調査 | 10月11日 議員団会議、連合執行委員会県政報告、ディーセントワーク |
| 9月10日 前橋JCぐんま学園交流事業 | 10月12日 本会議 |
| 9月12日 林活議連県内調査 | 10月13日 野辺山・白田見学会、前橋東ロータリー家族集会 |
| 9月13日 議員団会議 | 10月14日 決算特別委員会(県内調査) |
| 9月14日 小川あきら後援会ゴルフコンペ | 10月15日 江田町文化祭、恵風祭(恵風園)、三森市議市政報告会 |
| 9月15日 養蚕農家視察 | 10月16日 緑風街倶楽部の稲刈り、コンベンションを考える会総会 |
| 9月16日 前橋JC・9月例会 | 10月20日 決算分科会 |
| 9月17日 まえばし赤城山・元気フェスタ、1000人委員会高崎集会 | 10月21日 議員団会議 |
| 9月19日 前橋田、古市町、江田町、大手町、他各地区敬老会、DETサポーター会 | 10月22日 フードスケープ(アーツ前橋)、ファーマーズマーケット |
| 9月20日 平成28年第3回定例会開会(12月15日まで) | 10月23日 東地区グラウンドゴルフ大会、前橋JC・10月例会 |
| 9月21日 大利根マロニエ会(買い物支援ボランティア)、連合前橋地協県政報告 | 10月25日 スポーツ特別委員会県内調査 |
| 9月22日 45DAYS オープニング | 10月26日 女性議員政策会議・研修会(榛東村)、JC明豊会総会 |



Facebook & BLOG

akira-o.jp/blog/

GO!

フェイスブック
& ブログ
やってます!
ぜひ一度覗いて
みてください



御巣鷹慰霊登山

投稿日: 2016年8月11日

今日は一日、上野村。御巣鷹山の慰霊登山と灯籠流しに参加をさせていただきました。

慰霊登山では、当時まだ生まれていなかった大学生たちが、事故のことを調べて、参加してくれた子供たちに事故の経過や事故現場の状況について丁寧に教えていました。

520名の命が犠牲になった日航ジャンボ機の墜落事故から31年。記憶の風化も懸念されていますが、群馬県内では、50歳以上の人に話を聞くと、大抵の方が当時のことをよく覚えており、それぞれのエピソードを語ってくれます。

地元の消防団の一員として山に登っていったお話。当日はお盆休みで新潟に行ったけど、大変なことが起きたのですねと引き返してきたお話。お腹に赤ちゃんがいたので、なるべく事故のニュースは見ないようにしていたというお母さん。歯科医師として個人識別のお手伝いをしたというエピソード。



たくさんの記憶を次の世代へ、さらに先の世代へ語り継いでいきたいと思います。



結婚応援パスポート

投稿日: 2016年9月28日

群馬県では子育て世代を応援するぐんまきよきパスポート、そしてシニア世代を応援するシニアパスポートを発行していますが、10月3日から結婚応援パスポート(コンパス)を発行することになりました。

結婚式場のサービスや、新生活を始めるときの家具や家電製品の購入割引などに使えるように、加盟店を増やしているところです。婚姻届けを提出するとその場でもらえて、期間は1年。さらに結婚を前提に交際しているカップルも県に申請するともらえます。

今年の4月以降に入籍した方も対象となります(^^)

家族を増やしたくなる群馬県に一つ近づいたかな?



通称
コンパス
ぐんま結婚応援
パスポート

サポーター・ボランティア募集

みんなおいでよ!!

Akira OGAWA



1982年・農家の長女として誕生。中央大学在学中に司法試験合格。前橋地方裁判所で司法修習の後、群馬弁護士会へ登録。2011年・群馬県議会議員(初当選)。2015年・群馬県議会議員(現在2期目)・リベラル群馬。

お神輿(お祭り)好きの庶民派。

政治を身近に☆体験しませんか?!



小川あきら事務所

〒371-0844 群馬県前橋市古市町 1-43-7 1F

TEL.027-255-7700 FAX.027-255-7788

URL.http://akira-o.jp Email info@akira-o.jp

